

令和5年度

若手教員研修  
(3年目研修)

研修の手引き

福井県教育委員会

勤務校	職名
氏名	

## 目 次

1	実施要項	1
2	授業実践研究	2
3	各研修の受講について	2
4	提出書類等	3
	校外研修の記録・報告書	3
	諸届	3
	レポート	4
○	3年目研修提出書類等一覧	5
○	福井県教員育成指標	6

### 研修についての問合せ先

- 福井県教育総合研究所 教職研修センター  
〒919-0461 坂井市春江町江留上緑 8-1 TEL (0776) 58-2160  
3年目研修専用 E-mail wakate3@fec.fukui-c.ed.jp
- 福井県特別支援教育センター  
〒910-0846 福井市四ツ井 2丁目 8-1 TEL (0776) 53-6574  
E-mail tokuse03@pref.fukui.lg.jp
- 福井県教育庁嶺南教育事務所  
〒917-0241 小浜市遠敷 2丁目 205 TEL (0770) 56-1302

# 1 実施要項

## 1 目的

専門的な教科指導力と授業力の向上を図るとともに、時代に即した教育課題に取り組み、変化への対応力を育む。

## 2 実施主体

福井県教育委員会

## 3 実施期間

実施期間は令和5年度の1年間とする。

## 4 対象者

- (1) 令和3年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教諭で、2年目研修を受講した者とする。ただし、養護教諭および栄養教諭は除く。
- (2) 当該年度に長期の休暇（休業）を取得することがすでに明らかな場合は、原則として休暇（休業）明けに受講すること。なお、年度途中で長期の休暇（休業）を取得することになった場合は、受講可能な研修を受講し、残りは休暇（休業）明けに受講することとする。いずれの場合も、休暇（休業）からの復帰時期によっては、翌年度の受講となる。

## 5 実施計画

コード№	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場等	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う 教師の学び 研修ガイダンス	下記3日のうち指定日に受講	
223	生徒指導	学級運営② (レジリエンス・保護者対応)	5月17日(水) 教育総合研究所	p. 2 ③ 参照
251	学習指導	校種別研修 (「主体的・対話的で深い学び」の 視点を取り入れた授業づくり)	5月23日(火) 嶺南教育事務所 5月24日(水) 教育総合研究所	
215	学習指導	授業実践研究Ⅳ (授業実践研究の深め方)	いずれも 13:30～16:30	
261b	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	【小・中・高等学校】 下記6日のうち1日選択 10月18日(水) あいばーく今立(越前市) 19日(木) 教育総合研究所 25日(水) 嶺南教育事務所 26日(木) 教育総合研究所 11月1日(水) 教育総合研究所 2日(木) 教育総合研究所  【特別支援学校】 下記3日のうち1日選択 10月26日(木) 特別支援教育センター 11月2日(木) 特別支援教育センター 9日(木) 特別支援教育センター  いずれも 13:30～16:30	p. 2 ② 参照
262	学習指導 連携・協働	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅の クロスセッション)	下記6日のうち1日選択 1月25日(木) 嶺南教育事務所 26日(金) 教育総合研究所 2月1日(木) あいばーく今立(越前市) 2日(金) 教育総合研究所 8日(木) 教育総合研究所 9日(金) 教育総合研究所  いずれも 13:30～16:30	p. 2 ② 参照

G112	学習指導	通信型研修「アクティブ・ラーニング講座 ～授業づくり編～」	8月25日（金）までに受講	p. 3 参照
G213	マネジメント	通信型研修「学級づくりシリーズⅢ」	8月25日（金）までに受講	p. 3 参照
G230	素養	通信型研修「人権教育」	9月22日（金）までに受講	p. 3 参照

## 2 授業実践研究

授業力向上のためには実践と省察を継続して行う必要がある。このため、3年目研修では、初任から取り組んできた授業実践研究を継続し、若手教員研修3年間の集大成とすることを研修の軸とする。

### 1 授業実践研究Ⅳ コード No. 215（5月）

校種や教科に合わせたグループ構成とし、「授業実践研究の概要（案）」をもとに今年度の授業実践研究の深め方について協議する。

### 2 授業（教育）実践研究の共有（クロスセッション）コード No. 261b（10、11月）、262（1、2月）

10、11月「授業実践研究の中間まとめ」をもとに校種や教科に合わせたグループ協議を通じて、専門的な力量を形成する。

1、2月「授業実践研究のまとめ」をもとに校種や教科を超えたグループ協議を通じて、他者の視点を意識し、視野を広げる。

[受講希望日の調査について]

受講希望日（第1希望、第2希望）その他担当学年等について、次のURLまたはQRコードから回答すること。（事前に行事予定を確認し、管理職と相談）

なお、受講決定日は、研究所から別途文書で通知する。

【URL】 <https://forms.gle/MbstydJ2cynBfxtX9>

【QRコード】



【締切】 令和5年5月26日（金）

## 3 各研修の受講について

[研修資料のダウンロードについて]

研修資料は、研修日の2日前から教育総合研究所ホームページ「SSO」→「教育情報システム」→「研修資料」よりダウンロードが可能となる。当日は、印刷して持参するか、各自の端末で閲覧できるようにしておく。

### 1 学級経営②、校種別研修、授業実践研究Ⅳ（コード No. 223、251、215）

(1) 期日・会場

嶺北小学校勤務者	5月17日（水）	教育総合研究所
嶺南小・中学校勤務者	5月23日（火）	嶺南教育事務所
嶺北中学校、高等学校、特別支援学校勤務者	5月24日（水）	教育総合研究所

(2) 当日の日程

受付	13:00～13:20
研修	13:30～16:30

(3) 当日の準備物

- ・若手教員研修（3年目研修）の手引き
- ・レポート「授業実践研究の概要（案）」7部（両面印刷）
- ・名札
- ・学級運営指導書「通うのが楽しい学級づくり」
- ・「令和4年度 2年目研修 教育実践研究 最終報告レポート集」（特別支援学校勤務者のみ）

## 2 通信型研修（コード: G112、G213、G230）

コードNo.	内容（講座タイトル）	配信開始日	受講期限
G112	「アクティブ・ラーニング講座～授業づくり編～」	4月3日(月)	8月25日(金)
G213	「学級づくりシリーズⅢ」		
G230	「人権教育」	8月下旬	9月22日(金)

教育総合研究所ホームページ「SSO」→「通信型研修システム」より受講し、「校外研修の記録・報告書」に「概要・感想・成果の活用等」を入力する。

## 3 その他

教育総合研究所ホームページにある「研修・会議参加に際しての留意事項」を下記URLもしくは右のQRコードより確認して研修に臨むこと。

〔URL〕 <https://onl.sc/bSMXLV8>



## 4 提出書類等

### 1 校外研修の記録・報告書（様式3）

様式は教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」からダウンロードし、下記の手順で作成する。（作成したものは必ず管理職と共有すること。）

#### (1) 「校外研修の記録・報告書」の作成

毎回の研修終了後に受講日および会場、概要・感想・成果の活用等を入力する。  
通信型研修は、受講後に受講日および概要・感想・成果の活用等を入力する。

#### (2) 中間報告

9月末までの研修の記録・報告を入力し、印刷したものを10、11月に開催する授業実践研究の共有（初任者・2年目、3年目のクロスセッション）の研修時に持参する。（受付で提出する。）

#### (3) 最終提出

1年間の研修終了後、データをp.4の提出経路に従い管理職を通じてメールにて提出する。（締切等はp.5「3年目研修提出書類等一覧」を参照）

※延期願を提出した研修については、該当研修の欄に「次年度に延期」と入力する。

※年度途中で研修を受講できなくなった場合は、その時点での記録・報告書を提出する。

〔形式〕

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称\_氏名（フルネーム）】3年目研\_記録・報告書

## 2 諸届

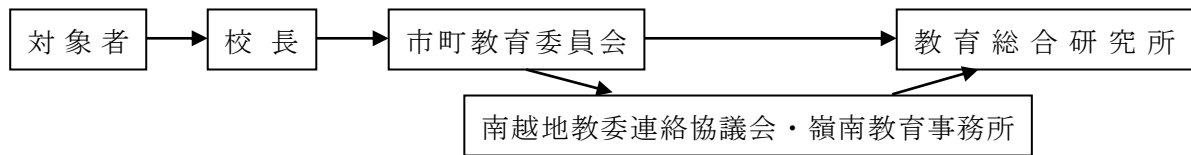
次のものは、事前に管理職を通じて担当機関に問い合わせた上で、必要に応じて校長が作成し、下記の提出経路に従ってデータをメールにて提出する。様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「共通様式」よりダウンロードする。提出時のファイル形式はPDFとする。

「欠席届」（共通様式1）・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合

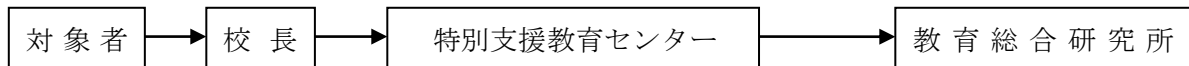
「延期願」（共通様式2）・・・受講が次年度以降になる場合

## [提出経路]

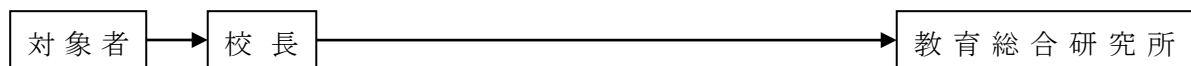
### ○ 市町小・中学校



### ○ 特別支援学校



### ○ 高等学校、県立中学校



## 3 レポート (p.5 提出書類等一覧を参照)

様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」よりダウンロードする。

- (1) 「授業実践研究の概要(案)」(様式1) A4判たて、1ページ程度  
コードNo.215のグループ協議時に、7部持参する。  
※特別支援学校は、上記に加えて、「令和4年度 2年目研修 教育実践研究 最終報告レポート集」(昨年度末にメールで送付済)を持参する。
- (2) 「授業実践研究の概要」(様式1) A4判たて、1ページ程度  
コードNo.215の研修で得たことを踏まえて作成し、6月9日(金)までに下記のとおり提出する。  
(提出方法)  
教育総合研究所ホームページ「SSO」→「教育情報システム」→「3年目研修レポート」フォルダ内にアップロードする。  
ファイル形式: PDF ファイル名: 【勤務校略称\_氏名(フルネーム)】概要
- (3) 「授業実践研究の中間まとめ」(様式2) A4判たて、3ページ程度  
10月4日(水)までに(2)と同様の提出方法で提出する。  
ファイル形式: PDF ファイル名: 【勤務校略称\_氏名(フルネーム)】中間まとめ  
コードNo.261b(10・11月クロスセッション)の際に7部持参する。
- (4) 「授業実践研究のまとめ」(様式2) A4判たて、5ページ程度  
コードNo.262(1・2月クロスセッション)の際に7部持参する。  
1・2月クロスセッション受講後、一週間以内に(2)と同様の提出方法で提出する。  
ファイル形式: PDF ファイル名: 【勤務校略称\_氏名(フルネーム)】まとめ

### ○3年目研修提出書類等一覧

※それぞれの提出先を確認の上、管理職を通して提出。レポート等は市町教委を経由せず、提出先に直接提出。

提出書類等		設置区分 校 種	市町小・中学校			県立・その他	
			市町教育委員会		研究所	中学校 高等学校	特別支援学校
各 書 類	・欠席届（共通様式1） ・延期願（共通様式2）	提出先	市町教育委員会		研究所	特支センター	
		提出方法	メールにて送付（PDF）				
		締切	発生都度				
	・校外研修の記録・報告書 中間報告（様式3）	提出方法	9月末までの研修記録・報告を入力、印刷したものを持参				
		提出日	10・11月授業実践研究の共有（クロスセッション）受講日 ※詳細は p.3 参照				
	・校外研修の記録・報告書 （様式3）	提出先	市町教育委員会		研究所	特支センター	
提出方法		メールにて送付（PDF）					
締切		3/1（金）		3/8（金）	3/1（金）		
レ ポ ー ト 等	・3年目の授業実践研究の 概要（案）	締切	5/17（水）、23（火）、24（水）の研修の際に7部持参				
		備考	特別支援学校は、レポート集を持参 ※詳細は p.4 参照				
	・授業実践研究の共有（ク ロスセッション）希望日	提出方法	Google フォーム				
		締切	5/26（金）				
		備考	10・11月、1・2月とも第2希望まで連絡 ※詳細は p.2 参照				
	・授業実践研究の概要 （様式1）	提出方法	教育情報システム「3年目研修レポート」フォルダ内にアップロード （PDF）				
		締切	6/9（金）				
		備考	5月の研修で得たことを踏まえてまとめる ※詳細は p.4 参照				
	・授業実践研究の中間まと め（様式2）	提出方法	教育情報システム「3年目研修レポート」フォルダ内にアップロード （PDF）				
		締切	10/4（水）				
		備考	10・11月授業実践研究の共有（クロスセッション）の際に7部持参 ※詳細は p.4 参照				
	・授業実践研究のまとめ （様式2）	提出方法	教育情報システム「3年目研修レポート」フォルダ内にアップロード （PDF）				
締切		1・2月クロスセッション受講後、一週間以内					
備考		1・2月教育実践研究の共有（クロスセッション）の際に7部持参 ※詳細は p.4 参照					

# 福井県教員育成指標

## 福井の教育が目指す育てたい人間像

自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために挑戦し続ける人

多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、いつどこにいても社会や地域に貢献する人

## 福井が求める教師像

校種・教科等に関する専門的知識・実践的技能を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、自立した社会人としての良識や幅広い視野を持った人

子どもたちともより、同僚や家庭、地域社会と円滑な人間関係を築き、課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める採用時の姿			第1ステージ 教員としての基盤を固める			第2ステージ 中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する			第3ステージ 経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする			ステージ	管理職	
		福井県が求める採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	管理職	トップリーダーとして教育活動を推進する									
素養	教育的愛情使命感責任感	子どもに対する愛情・教職への情熱	子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 ・教職に対する使命感、誇り、責任感	学校教育を牽引する使命感、責任感	組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校経営に積極的に参画する責任感	将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力										
	倫理観人間性社会性	高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、服務の誠実かつ公正な遂行 ・市民としての役割の遂行と積極的な社会参画			豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築										
学習指導力	コミュニケーション力	他者との意思の疎通と協働	同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通			明確な教育理念と省察による自己の職能の成長 ◎正確で迅速な情報収集、整理、分析、共有(アセスメント) ・的確な判断を行う力 ・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握										
	学び続ける力探究心	学びの専門家としての学び続ける意欲 ・多様な社会体験への挑戦	自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見・解決の努力・省察する力) ・自主的な協働研究への積極的な参画	専門性の深化とキャリアアップ ・学校内や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり	自らの実践の深化と改善 ・学校内や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、助言											
共通	教科等の専門性	教科等を学ぶ意義の理解 教科等で培う力の把握	教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通した学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究													
	授業力	教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	教科等の特性や本質の理解 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業 ・多様な授業形態を取り入れた個別最適な学びや協働的な学びへの工夫 ・主体的・対話的で深い学びへの工夫 ・指導と評価の一体化に基づく実践 ・子どもの学びの見取りの意義と実践 ・校内研究への主体的な取り組み、積極的な授業公開の実施	省察をもとにした授業改善 ・教科等の特性や本質の追究 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの実現 ・教科等横断的なカリキュラムデザイン ・校内研究の中核として授業実践を牽引 ・若手教員への授業力を高める指導、助言	広い視野での授業改善 ・教科等の特性や本質を理解した実践 ・主体的・対話的で深い学びの深化 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの深化 ・資質・能力を培う授業の提案 ・学校全体の授業力向上に係る企画 ・学校内外の中心として示範となる授業実践の推進 ・校内研究の中心として組織を運営 ・学校内外の教職員への指導、助言											
生徒指導	福井の教育力を支える研究・連携	福井の教育の特長の理解 「ふるさと福井」を大切に思う心	子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦横教科研担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承													
	ICTや情報・教育データの利活用	ICT活用の理解 ・ICT活用の技能	授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫													
マネジメント・人材育成	特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の基本的な知識	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の理解、実践 ・合理的配慮に対する理解、実践	子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育に関する組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言 ・関係機関と協働した課題の改善、解決											
	幼児・児童・生徒理解	子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	子どもの個性、特性の理解 ・インクルーシブ教育の視点を踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践	学級および学年全体の子ども理解 ・学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた諸課題への対応	組織的な学年経営と学校全体の子ども理解 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営											
連携・協働	幼児・児童・生徒に応じた支援課題への対応や支援	子どもたちの多様性を踏まえた、個や集団への支援や指導についての理解 ・一人一人の子どもに寄り添う態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容の心と態度	子どもの個性や特性、課題に応じた支援や指導 ・子どもの特性を理解した原因分析力 ・学校の生徒指導の方針に対する理解 ・報告・連絡・相談を通したチームでの生徒指導の実践 ・家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働	チームの中核として子どもへの適切な支援や指導 ・子どもの個性、特性に応じた生徒指導方針をチームの中核として集団を牽引 ・若手教員に対する適切な指導、支援 ・家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働	チームの責任者として教職員に対する指導、助言 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導方針の立案 ・チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整 ・確かな情報の共有と適切な管理 ・家庭や地域、関係機関との連携・協働											
	業務改善(働き方改革に向けて)	効率的な時間管理に対する意識	自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践	チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示唆と助言 ・学校教育活動全体の精査と精選の具体的な提案と組織的な実践											
福井の力	学級経営学年経営学校経営	理想とする学級像の形成	一人一人の子どもが活躍し、互いを認め合い安心して過ごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	学年のリーダーとして率先して協働的活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引 ・カリキュラムマネジメントを意識した協働的活動の牽引 ・若手教員の抱える課題の理解、支援	学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・カリキュラムマネジメントの視点での組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言											
	社会の変化への対応	学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的な実践											
家庭や地域社会との連携	学校安全危機管理	学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	チームの中核としての学校安全、危機管理上の課題への対処 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント ・学校の事件、事故の対処と未然防止に対する教職員への指導、助言											
	人材育成	様々な課題に対応する力	学校内外の研修や自主研究への参画	若手教員に対する指導、助言	校内研修、自主研究の企画、運営											
福井の力	組織における協働	仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力	教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践	ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動 ・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上	チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築											
	家庭や地域社会との連携	地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育成する意義の理解	家庭、地域社会、関係機関との連携、協働のネットワークの形成 ・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築			スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意見集約 ・家庭や地域社会の学校への期待、関心の把握と教育活動への活用 ・地域の教育資源の積極的な活用										
福井の力	「ふるさと福井」の教育	「ふるさと福井」への理解 ・福井の教育をよりよくしていく心と態度	福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふくい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人100人」「古典音読・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE」など)													

※なお、養護教諭については、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動の項目、栄養教諭については、食に関する指導、学校給食の管理の項目も含める。

◎は特に校長に積極すること